



# THE NEW YORK

From Rothko and Warhol to Kusama and Basquiat  
From the Collection of The Museum of Modern Art, Shiga and More

# ART SCENE

## ニューヨーク・アートシーン

ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで  
—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

2019年 6月8日(土) - 9月1日(日)

### 開会式のお知らせ

6月8日(土) 13時から

開会式を実施いたします。  
ぜひ、この機会を利用してご取材いただき、  
「ニューヨーク・アートシーン」展の魅力を発信  
していただきますようお願い申し上げます。  
(14時30分より講演会もございます)

# ニューヨーク・アートシーン

ロスコ、ウォーホルから草間彌生、パスキアまで  
—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に  
2019年6月8日(土) - 9月1日(日)

第二次世界大戦後、ニューヨークは多くの画期的な表現を生み出しました。大戦中、戦火を逃れてヨーロッパから移り住んだ多くの作家たちによって伝えられた近代美術はアメリカの若い作家たちを刺激し、新しい意欲的な表現へと道を開いたのです。

当時最先端の表現であったキュビズムとシュルレアリスムを乗り越えようとする試みはアクションという画家の激しい身振りの結果として、あるいは広漠とした色面の広がりとして、抽象表現主義と呼ばれる絵画を生み出しました。男性用便器を展覧会に出品したマルセル・デュシャンのダダ的な行為は、生活と芸術を等価とみなすネオ・ダダと呼ばれる作家たちに影響を与え、大衆文化への関心は大量消費社会を背景にポップ・アートというアメリカ独自の美術として花開きます。一方で1960年代以降、美術の根源を探るきわめて禁欲的、還元的な美術も同じニューヨークに登場します。そして現代美術の首都とも呼ぶべきニューヨークでは多くの日本人作家たちも活躍し、その中には草間彌生や河原温のように今日世界的な注目を浴びる作家も多く存在しました。

今回の展覧会では現在改修のため休館中の滋賀県立近代美術館が所蔵する日本屈指の戦後アメリカ美術のコレクションを中心に、国内に所蔵される優品を加え、100点余りの作品によって、ニューヨークという都市において展開したアメリカ美術の半世紀の歴史をご紹介します。

## 展示構成

### 第1章 新しいアメリカ絵画—抽象表現主義

戦後のニューヨークに登場した抽象表現主義と呼ばれる絵画運動はヨーロッパの近代美術を乗り越え、戦後アメリカ美術の出発点を固めます。マーク・ロスコやアド・ラインハートらの巨大で圧倒的な抽象絵画は一種の精神性さえ漂わせています。(関連図版1,2)

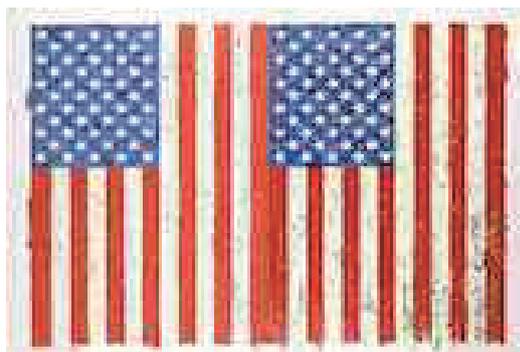
### 第2章 デュシャンとその末裔—ネオ・ダダとフルクサス

フランスに生まれ、ニューヨーク・ダダの中心人物、マルセル・デュシャンはアメリカの若い作家たちに強い影響を与えました。デュシャンの有名なレディメイド、《泉》に加えて、ロバート・ラウシェンバーグやジャスパー・ジョーンズらネオ・ダダの作品を紹介します。(関連図版3)



1. アーシル・ゴークー《無題(バージニア風景)》1943-44(昭和18-19)頃  
油彩、カンヴァス 滋賀県立近代美術館蔵

2. アド・ラインハート《トリプティック》1960(昭和35)  
油彩、カンヴァス 滋賀県立近代美術館蔵



3. ジャスパー・ジョーンズ《旗Ⅰ》1973(昭和48)シルクスクリーン、紙  
高松市美術館蔵 © Jasper Johns/VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2019 C2840

### 第3章 パクス・アメリカーナの夢—ポップ・アートとスーパー・リアリズム

1960年代、物質文明を謳歌するニューヨークにポップ・アートと呼ばれる新しい表現が生まれます。アンディ・ウォーホルやロイ・リクテンスタインは女優の写真やキャンベルスープ、漫画の一コマを反復し拡大して「アメリカの世紀」の新しいアイコンを創造します。(関連図版4)

### 第4章 最後の絵画—ポスト・ペインタリー—アブストラクション

ニューヨークの抽象絵画は1960年代に一つの頂点を迎えます。ケネス・ノーランドやフランク・ステラの巨大で色鮮やかな絵画はヨーロッパの伝統的な抽象表現とは全く異なった抽象絵画の極限的な姿をかいまみさせます。(関連図版5,6)



4. アンディ・ウォーホル《マリリン》10点組 1967年 シルクスクリーン、紙  
滋賀県立近代美術館蔵 © 2019 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc./ Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo C2840



5. ケネス・ノーランド《カドミウム・レイディアンス》1963 (昭和38) 油彩、カンヴァス 滋賀県立近代美術館蔵  
© Kenneth Noland/ VAGA at ARS, NY/ JASPAR, Tokyo 2019 C2840

### 第5章 限界における美術—ミニマル・アートとコンセプチュアル・アート

1960年代、絵画や彫刻といった形式は解体され、工業製品や既製品、言語や観念を素材として、何が美術を成立させるかを問う自己言及的な動向が登場します。カール・アンドレは亜鉛版を床に並べ、ロバート・モリスはフェルトを壁から垂らします。(関連図版7)



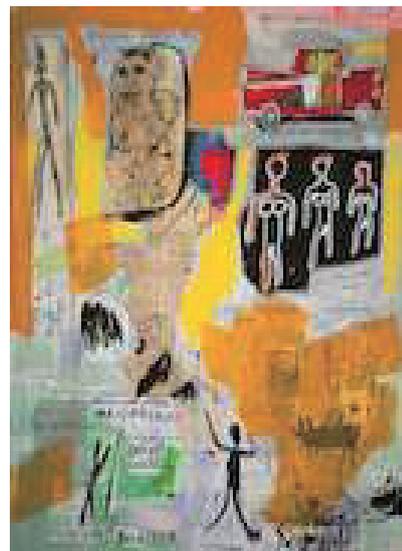
6. モーリス・ルイス《ダレット・ペー》1959 (昭和34) アクリル、カンヴァス  
滋賀県立近代美術館蔵

### 第6章 ポストモダン以後の表現—ニューペインティングとアプロプリエーション・アート

1980年代以降、再び絵画や彫刻が復活し、落書きにも似た激しい筆致、具象的なイメージが復活します。ジャン＝ミシェル・バスキアや篠原有司男らのニューペインティングに加えてシンディ・シャーマンや杉本博司ら同時代の写真表現も紹介します。(関連図版8)



7. ロバート・モリス《無題》1972 (昭和47) フェルト 滋賀県立近代美術館蔵  
© 2019 Robert Morris/ ARS, NY/ JASPAR, Tokyo C2840



8. ジャン＝ミシェル・バスキア《無題》1984 (昭和59)  
アクリル・油彩・油性ペイントスティック・シルクスクリン、カンヴァス 大阪中之島美術館蔵  
© The Estate of Jean-Michel Basquiat/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 C2840

## 開催概要

会場 和歌山県立近代美術館 1階展示室  
会期 2019年6月8日(土)～9月1日(日)  
開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)  
休館日 月曜日(7月15日、8月12日は開館し、翌7月16日、8月13日に休館)  
観覧料 一般800(640)円、大学生500(400)円 ( )内は20名以上の団体料金  
\*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
\*毎月第4土曜日(6月22日、7月27日、8月24日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

掲載用画像については、広報担当にお問合せ下さい。

文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

### 図版の使用について

- <図版3、4、5、7、8>については条件があります。
- 新聞・雑誌等の印刷物について、画像サイズが50平方センチ以下、展覧会告知が400字以内の場合、画像を使用いただけます。また著作権クレジットを明記ください。
- (印刷媒体で上記条件を満たさない場合は、一般社団法人日本美術著作権協会への著作権利用許可手続き及び使用料等の支払いが必要となりますので、ご注意ください。)
- ウェブ媒体については、画像が2万ピクセル以下であれば著作権クレジット無しで使用いただけます。(上記条件を満たさない場合は、一般社団法人日本美術著作権協会への著作権利用許可手続き及び使用料等の支払いが必要となります。)
- ※ほかの図版については、印刷媒体、ウェブ媒体に関わらず、条件はございません。

## 関連事業

### ● 講演会「ニューヨーク美術の半世紀」

【日時】6月8日(土)14時30分から、2階ホールにて(14時開場/聴講無料、先着順・定員120名)  
【講師】尾崎信一郎氏(鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長)

### ● トークイベント「ニューヨーク・アートシーンと音楽」

【日時】8月11日(日・祝)14時から、2階ホールにて(13時30分開場/聴講無料、先着順・定員120名)  
【講師】荏開津広(DJ/ライター/京都精華大学非常勤講師)

### ● フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

【日時】7月15日(月・祝)、8月24日(土)  
いずれも14時から展示室にて(要観覧券)

### ● こども美術館部「アートのるつぼのつぼ」(小学生対象の作品鑑賞会)

【日時】6月29日(土・祝)11時～12時(小学生は無料、同伴される保護者は要観覧券)  
\*2日前までに電話かメールで要申込。メール [bijutsukanbu@gmail.com](mailto:bijutsukanbu@gmail.com) / 電話 073-436-8690

### ● だれでも美術館部(みんなでお話しをしながら楽しむ作品鑑賞会)

【日時】6月29日(土)14時から 展示室にて(要観覧券)

### 【同時期開催】

#### LOVE (your) LIFE! まいにちがアート

【会期】4月27日(土)～6月30日(日)  
【会場】2階展示室

#### なつやすみの美術館9

#### 水と美術 featuring 坂井淑恵

【会期】7月9日(火)～9月8日(日)  
【会場】2階展示室

## 和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村一郎 広報担当：和佐

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL [moma\\_w@future.ocn.ne.jp](mailto:moma_w@future.ocn.ne.jp)

WEB <http://www.momaw.jp/>